

J A R L

香川クラブ報

No. 469 令和8年10月15日



秋雨にぬれた彼岸花（9月27日）

J A 5 Y D E

クラブミーティングのご案内

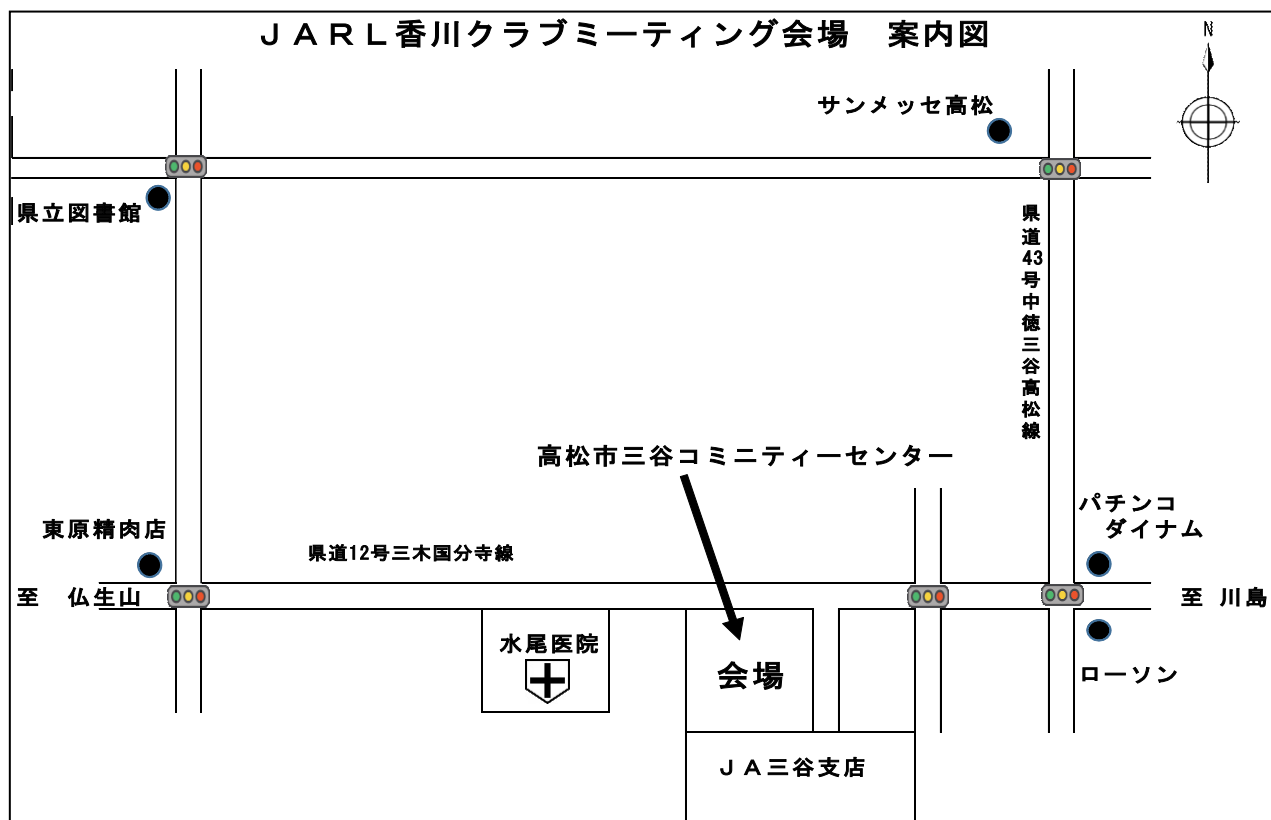
厳しかった夏の暑さもようやく落ち着き、朝晩はずいぶん涼しく、過ごしやすい季節となりました。一方で、このところは雨の日が続き、少々うっとうしい空模様となっています。

このクラブ報が皆様のお手元に届く頃には、秋らしい爽やかな青空が戻っていることを期待したいところです。

さて、今年の香川マラソンコンテストや忘年会に向けて、詳細な打ち合わせを行いたくクラブミーティングを開催いたします。ご多忙のこととは存じますが、お誘い合わせの上、ぜひ多数のご参加をお願い申し上げます。

記

- 日 時： 令和8年10月24日(土) 13:00～15:00
- 場 所： 三谷町 高松市三谷コミュニティセンター
- 議 題： 1. 香川マラソンコンテスト
2. 忘年会
3. その他





「JARL創立100周年記念 2026 全日本ARDF競技大会」が10月3・4日の二日間、岡山県真庭市にある「蒜山高原」において開催されました。

初秋とはいえ、まだまだ紅葉の気配は無くお天気が良ければ日中は暑ささえ感じます。

大会は、二日目になって分かったことですが、二競技とも真庭市蒜山図書館をスタート



地点とし、蒜山高原スポーツ公園をゴールとする同一競技エリア内ということで、今までの大会にはない設定にほとんどの選手が面食らっていました。

また、スタート地点から最短距離にあるTXまでが2km近く離れており、受信機によっては電波が聞こえないという状態で、このことでも面食らいました。

スタート地点

とゴールを含めた競技エリアが完全に分離された状態で、

選手らのゴール後の談話で「ARDFというより、マラソン大会や」と揶揄されるほどでした。今までにない特異な設定ということで、脚力とコース取りの切り替えがうまく出来たか出来なかったかで差が付いたような気がします。

そんな全競技が終了した後で分かったことはさて置き、初日の競技にいつもものように臨み



ました。

バスで移動中「ゴールが集合場所なら、距離はかなりあるなあ」など、各位それぞれワイワイガヤガヤです。

私のスタート順は申し分のない第6組です。

いざ、地図をもらおうと国土地理院の地図2万5千分の1を約2万分の1に拡大コピーしたもの。

で、わたしを含めて老眼が進んできている者にとっては見づらいことこの上なしです。

ゴールまでの直線距離は約4.5km。制限時間は120分。ともあれ、スタートしました。

通常の競技なら遠くても1km過ぎたあたりに一個はあるだろうと進みましたがやけに遠くから聞こえるようだし、TXによっては聞こえないのがあるぐらいでした。

1km過ぎたあたりから脇道を入ったり出たりして時間ロスをしながら進みます。

このあたりかと定めをつけて藪を突き進みましたが深い谷に突き当たり前進不可。泣く泣く引き返したりで20分近く費やし、やっと目的の第1TXをゲット。

続いて第2TXは難なくゲットしたのは良かったのですが、引き返してメイン道路に出れば良いものをいつものように頭に血が上っているので、ただ前進あるのみ。

大幅に回り道をして、やっとメインの道路に出たのですが無駄な労力と時間を費やしてしまいました。

残りの第5TXを目指して、ただひたすら歩き時々走りながら移動です。

闘病前の体調なら、このぐらいの距離は平気で走り続けることはできたのですが、今の私にはとてつもなく長い距離です。

ゴールよりまだ奥に隠されていた第5TXをゲットして青息吐息で何とかゴールしました。

所要時間は1時間24分43秒でM75クラス第2位でした。

一日目の競技は終了。あちこちで競技や成績について賑わっていました。

その後、一緒に参加したメンバー4名で湯原温泉「輝乃湯」へ移動。

温泉で汗と疲れを癒し、食事とアルコールに舌鼓を打ちながら「ああでもない、こうだった」



などと、どちらかと言えば反省や愚痴に、話し尽きることなく楽しい時間を過ごしました。

3度目の温泉に浸かり、早々に朝食を済ませて旅館を出発。集合場所に移動です。

知り合いの選手などとARDF談議で時間を過ごしました。

いよいよ、初日と同じ行程でバス移動「えっ、また昨日と同じだ」なんて話しながら真庭市蒜山図書館に到着しました。

待機中も、昨日の今日ですから話題は尽きません。そうこうしていると雨がポロポロ、今度は受信機や自身の体の雨対策です。

雨脚はだんだん強くなり本降りに。「せめて小降りなら」と一同の期待も天には届かず、とうとう競技が終了しても止むことはありませんでした。



今日のスタート組は第11組。スタート時間が30分前倒しということで、少しは気が楽になりましたが、それでも12時前ですので待機時間がとても長く感じました。

いよいよ、スタートし探索開始地点に移動しましたが何とTXの信号が一切入りません。

周りの選手たちもそれぞれ独り言で「何も聞こえん」と。

雨対策で受信機に防水処理をしている人は、思い思いに防水対策用のビニールカバーを外したり覗いたりしながらとりあえず移動です。

私も周波数や音量ボリュームを探りながら、やっと500mほど進んだところで一番近い第1TXが受信可能になり何とかゲット出来ましたが、実は受信機の取扱いミスでした。



第2TXもゲットして最後の第5TXを目指します。

途中でゴール方面に受信機を向けると第3TXが目に入り、私のクラスには必要ないTXですが、見えると知らないのに、つい「あれも取っておこう」とゲット。

とにかく、移動に体力を削がれながら第5TXにたどり着くと、昨日の144MHz帯と全く同じ位置に配

置されていました。「嘘だろう」とつい独り言が出てしまいました。

ひたすら 1 kmあまりをゴール目指して走る・歩くです。

獲得TXは必要のない第3TXを含めて4個、所要タイムは1時間0分32秒でクラス第1位でした。

詳細は「ARDF 日本」のホームページで参加選手たちの成績等が閲覧できます。

「第3TXを取らなければ1時間を切っていただろうに」とか「それで入賞を逃したらどうするの」とか、知り合いたちから随分冷やかされました。

表彰式、閉会式も終わり帰路につきました。例年なら、この後に観光旅行をするのですが、今年は近いこともあり観光旅行は組まず19時過ぎには各局と別れを告げて無事に帰宅することができました。



この後、11月9日から14日まで Region 3 (アジア・オセアニア地域) の ARDF 競技大会が、今年は日本の滋賀県野洲市で開催され、M70 クラスの日本代表の一人として参加してきました。成績はどうなるか分かりませんが、楽しんで来ようと思っています。

また、今年の全日本大会で2種目とも運よく入賞できましたので、来年の韓国で開催される世界大会に選抜されるかも？なんて参加する・しないは別として思いを馳せています。私のような者でも、ARDFは世界に向かえる可能性がある趣味・競技です。

なお、来年の全日本 ARDF 競技大会は長崎県に決定しているようです。

以前のように予選とか選抜とかはありませんので、興味のある方は選手・応援・スタッフ手伝いなど誰でも参加することができます。

ARDF 競技について質問などありましたら JH5LYW 三好まで連絡をお待ちしております。ぜひ、皆さんのご参加を期待しております。

私のハムライフ

JA5CAV 宮地豊二

今年 8 月に入会させていただきました宮地豊二です。自己紹介を兼ねて私のハムライフをお話しします

昭和 23 年 8 月生まれ、JARL 香川クラブ発足の年に生まれて 78 歳です。小学生の頃からアマチュア無線に興味がありましたが試験問題を見てもチンプンカンプン。まずは BCL と SWL を始めて、各地の放送局からベリカード、アマチュア局からの QSL カードを集めて楽しんでいました。国試の方は昭和 41 年 4 月に電話級、43 年に電信級、56 年に 2 級を取得しました。昭和 41 年 10 月に高松市栗林町で 3.5~50MHz, AM で開局。主に 50MHz で (TR-1000) を肩にかけ近くの山に登って QSO を楽しんでいました。

栗林町から木太町、高松町、大川郡志度町とだんだん田舎に引っ越しをし、それに伴って HF のアクティビティも上がりました。最終的には 20mH のタワーに 4el Yagi を振り回して、WAC, DXCC, WAZ, WAS など国内外のアワードを 50 枚近く集めることができました。

これで退職したら朝から晩まで無線ができると思っていた矢先、左耳の聴神経腫瘍が見つかり摘出、左耳が失聴してしまいました。右耳は仕事中にガス切断の火の粉が入り鼓膜に穴が開き難聴に。聴覚障害者になってしまいました。

これ以上耳が悪くなってはいけないと思い、泣く泣く無線をするのを諦めました。それから約 28 年、今年になって家内に「無線もせんのに廃品業者に引き取ってもらいまい」と言われて、捨てるのは惜しい。友人の JI5VUZ 市原 OM に相談したら香川クラブで引き取ってもらえることになり、市原 OM と JA5TOP 平賀 OM のお二人で引き取りに来られ、1 時間ほど最近の無線のことを聞いていたらまた再開したくなり、今回仲間に入れてもらった次第です。FT8、D-STAR、電子 QSL など最近のことはさっぱりわかりません。いろいろご指導宜しくお願い致します。



1990 年代 シャックとアンテナ

小説を書いてみました

JG5JXW

まさか自分が、小説を出版することになるとは思ってもいませんでした。私は中学生の頃からパソコン、特にプログラミングに興味を持ち、長年コンピュータと向き合う生活をしてきました。仕事もシステム関係一筋です。その一方で、文章を書くことには、ずっと苦手意識がありました。

そんな私が文章に興味を持つようになったきっかけは、外山滋比古さんの本との出会いです。文章を書くには、まず良い文章に慣れることが大切なのではないか。そう考えて始めたのが「写経」でした。といっても、お経を書き写すのではなく、本の文章をそのまま書き写すというものです。気がつけば、この「写経」も3年目に入りました。

そうして文章と向き合っているうちに、「いつか自分も本を出してみたい」という気持ちが芽生えてきました。今年の初めに立てた目標の一つが、「小説の書き方を学ぶ」ことです。そして来年には、Kindle で本を出してみようと考えていました。ところが、ストーリーやシナリオの作り方を勉強しながら、実際にストーリーを考え、プロットを作り、本文を書いているうちに、「これなら今年中にできるのではないか」と思い始めます。

シナリオ作りでは「箱書き」という手法を使いました。その作業中に「こんなソフトがあったら便利だな」と思い、なぜか小説を書く前に、そのためのソフトを作ることに。この辺りは、長年プログラマーをやってきた人間の性なのかもしれません。

そんな寄り道をしながらも、短いながら一本の小説が完成しました。

推敲には ChatGPT にも手伝ってもらっています。ただし、文章そのものを書いてもらったわけではありません。誤字脱字や不自然な言い回し、前後関係におかしなところがないかなど、編集者に原稿を見てもらうような使い方です。

指摘されたところを読み、実際に直すかどうかを決めるのは自分。最後には、表記の揺れなどもチェックしてもらいました。

また、私には絵を描く才能がありませんので、表紙や挿絵の作成も ChatGPT をお願いすることに。こちらは思った以上に大変でした。なかなか思い通りのイメージが伝わらず、何度もやり直すことになったからです。

さらに、Word で作った原稿を EPUB 形式にして、iPad のブックアプリで確認。画面に自分の小説が本物の電子書籍のように表示されたときには、少し感動しました。

最後は、Amazon の KDP (Kindle Direct Publishing) への登録です。出版のことなど何も知りませんので、画面に出てくる言葉の意味から調べながら、一つずつ設定していきます。そして9月21日、とうとう出版申請。少しドキドキしながら審査結果を待つこと2日。9月23日、無事に審査を通過しました。

こうして、初めて書いた小説『タイム・スマホ——時を操り、人を惑わす魔のスマホ』を Amazon Kindle で出版することができました。

中古で手に入れたスマホで写真を撮ると、そこには過去や未来の出来事が写っていた——。そんな不思議なスマホを手に入れた主人公・圭介の物語です。

未来を知ることができたら、人はどうするのか。そして、未来を知ったとして、その未来を変えることはできるのか。

そんなことを考えながら書いた作品です。長編ではありません。初めて書いた、小さな小説です。それでも、「いつか本を出してみたい」と思っていたことが、本当に一つの形になりました。

Kindle Unlimited でお読みいただけますので、もし興味を持っていただけましたら、ぜひご一読いただければ幸いです。

『タイム・スマホ』——時を操り、人を惑わす魔のスマホ——



<https://amzn.asia/d/0e5DfbTb>

クラブ報の原稿依頼及び送付先

身近な出来事、旅行記、自身のハムライフ、掲載要望などのジャンルは問いません。
原稿サイズ:A4サイズ、可能ならWordで作成し電子メール、電子メールが無い場合はFaxか郵送。

送 付 先 : E-mail

Fax

郵 送 先 : 坂井進史 宛

ホームページ : <https://www.jarl.com/ja5yde/>

** お願い **

J A R L 香川クラブでは、会員の実態を把握するため、免許状記載事項に変更があった方や、新たに無線局の免許状を取得された方は、その都度、お知らせくださいますようお願いします。

★★★★ 新入会員募集中 ★★★★★

J A R L 香川クラブでは新会員を募集しています。

今年はクラブ結成 78 年(1948 年 10 月結成)になります。

そこで更なる飛躍と新たな歴史を築いていかなければなりません。

クラブに新風を吹き込むと同時に、活性化のためにも新入会員の募集にご協力ください。

将来のインターネットサービスに対応して、現在「電子メールアドレス」を取得している方は、差し支えなければ連絡下さい。

*** 連絡先 坂井進史 JG5JXW

*** クラブ取引口座 ***

J A R L 香川クラブ報

発行責任者	J H 5 L Y W	三 好 伸 幸
編 集 者	J A 5 T O P	平 賀 正 明
	J I 5 S A I	平 田 昌 三
	J I 5 V U Z	市 原 義 博
	J I 5 X T P	坂 内 信 洋
	J G 5 J X W	坂 井 進 史
事 務 所	三 好 伸 幸 方	